

エネルギー研究室 石油検査紹介

全国の全農グループ石油基地から出荷される石油製品や海外から全農が直接輸入する石油製品について、JISに基づき品質検査し確かな品質の石油製品の供給をサポートしています。また、JA-SSにて販売した石油製品について相談があった際は、検査を通じて解決をサポートしています。

全農グループ石油基地製品・輸入品 品質検査

日本工業規格(JIS)に基づき、全農グループ石油基地製品や輸入品の品質を管理しています。

● 検査油種



ガソリン 灯油 軽油 A重油

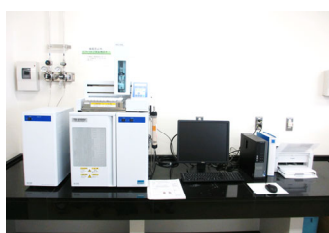
● 主な検査内容

- ・全農グループ石油基地から送付される石油製品の性状を毎月検査し、品質を担保しています。
- ・全農が海外から輸入している石油製品について通関にかかる検査を都度実施しています。
- ・エネルギー研究室では年間で約400の製品を検査しています。

● 検査機器(一部例)



蒸気圧試験機、密度試験機



微量硫黄測定機



蒸留試験機

販売製品のトラブル解決をサポート

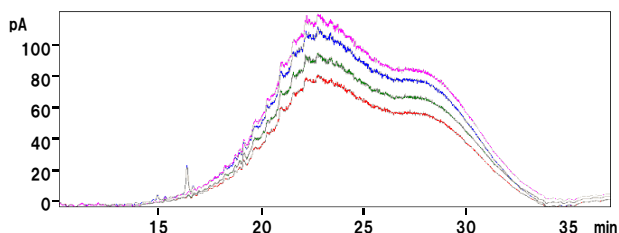
JA-SS等で販売した石油で「草刈り機で焼き付きが起きた」、「石油ストーブの火が着かない」等、様々なトラブルがあった場合、その石油製品がJIS規格を満たしているかなど品質面から原因追究をサポートします。

● 対象油種

ガソリン、灯油、軽油、A重油、混合油など

● 検査可能な内容

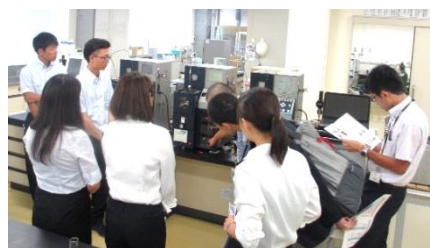
JISに定める検査項目、他油種混入の検査、混合油の混合比率測定など



(例) 混合油における混合比率の推定
ガスクロマトグラフィー試験により依頼品混合油の混合比率を推定します。

石油製品分析に関する内部研修会

石油基地・事業所の担当者向けに研修会を開催し、石油製品に関する品質や検査方法などについて知識・技能向上を図っています。



エネルギー研究室では
石油製品の安定供給を
サポートしています



のんのちゃん

のんのちゃん